

## 藤沢市観光経済再活性化プランの見直しについて

### 1 見直しの趣旨

平成23年3月に藤沢市観光振興計画を策定し、令和4年度までの12年間を計画期間とし、3年ごとに見直しをすることとしています。令和2年度に最終である3回目の見直しを行う予定でしたが、コロナ禍の影響により長期間の先行きを見通すことが困難であることから、柔軟かつ機動的に対応するため、本市の観光行政と緊密に連携している観光事業者等と協働し、観光振興計画の見直しを行うまでの暫定的な方針として、令和3年4月から本プランを位置づけ、運用を図っているところです。

観光振興計画の改定にあたっては、藤沢市市政運営の総合指針のほか、令和3年度の策定が1年延期されている上位計画の神奈川県観光振興計画との整合性を図る必要があることに加え、長引く感染症拡大の影響を見極めた上での視点が不可欠となっています。

今回、令和5年度に向けて、観光分野における組織基盤の構築など社会情勢の変化に対応し、(公社)藤沢市観光協会、民間事業者及び市が一体となって、藤沢市観光経済再活性化プランを見直し、令和5年1月からの運用を図るものです。

### 2 主な見直し内容

- ・「1 目的」  
新型コロナウイルス感染症の影響について、社会情勢が徐々に変化している旨を記述しました。
- ・「2 本プランの位置づけ」  
藤沢市観光振興計画の改定の延長及び同計画の暫定版である本プランの見直しの位置づけを更新しました。
- ・「3 現状」  
徐々に変化する社会情勢について、最新のデータから、国の動向や本市が行った施策について記述するなど内容を更新しました。
- ・「5 観光需要の変容」  
民間事業者のWEBサイトでのデータから、現状観光需要の変容を更新しました。
- ・「6 景気回復成長対策」  
江の島を中心とした湘南海岸地域の魅力を重点的に発信するとともに、市域全体への回遊策に関する記述を更新しました。
- ・「7 アクションプラン」
  - ア 宿泊補助事業やMaaS基盤強化補助事業など、プラン策定時以降に実施している施策を追加するよう更新しました。
  - イ 新たな周遊券の造成についての記述を追加したほか、ふるさと納税を活用した観光施策の研究を追加しました。
  - ウ 令和4年7月に設立された「湘南藤沢活性化コンソーシアム」についての記述を追加したほか、インバウンドに関する記述を更新しました。
  - エ SDGsの視点で、サステナブルツーリズムの推進を追加しました。

以上

(事務担当 経済部 観光課)